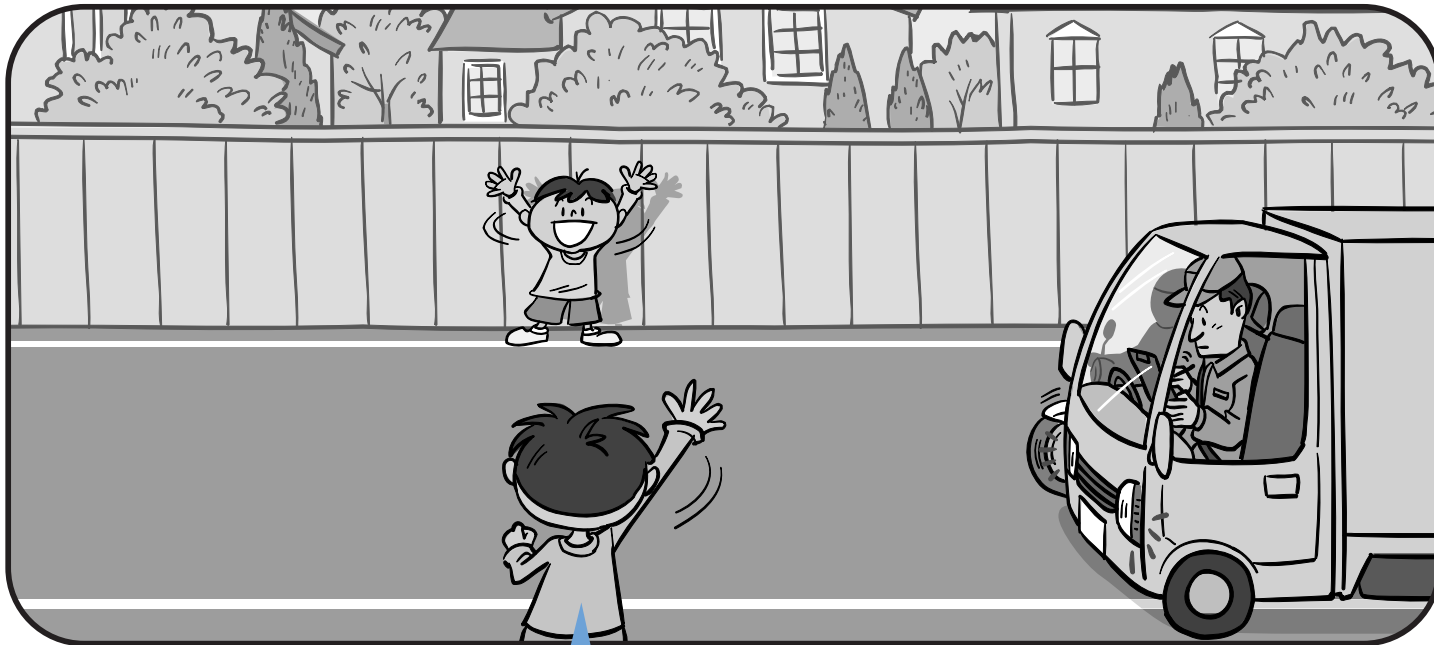


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第14回 駐車車両の前を横断する (子ども編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は子ども (小学生以上) に、道路の横断時に注意することを考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① イラストを見せて、子どもに場面状況を説明してください。
- ② イラストの中のどこに危険があるか、子どもの意見を聞いてください。
- ③ その後、「解説※」を参考に、道路を横断する時に注意すべきことについて再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記SJ-Netでご覧いただけます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部  
TEL : 03 (5412) 1736  
E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは向こう側にいる友だちのところに行くために道を渡ろうとしています。

あなたの右にいるトラックは止まっています。

安全に道を渡るためには、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。

©本田技研工業 (株)

SJクイズ 子ども編

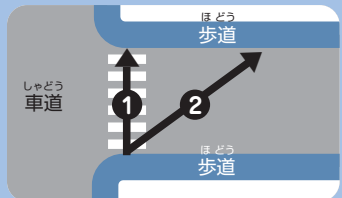
1 横断歩道を渡ろうと歩行者用の信号を見たら、青がチカチカしていました。この時に、正しいのはどれでしょう？

- ① 走って渡る
- ② クルマに注意して渡る
- ③ 止まって次の青まで待つ

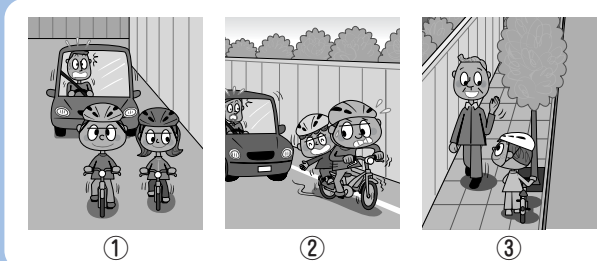


2 道路を渡る時、まっすぐに渡る場合と、ななめに渡る場合では、どちらが道路の反対側に早く着くことができるでしょう？ (どちらの場合も歩く速さは同じとします)

- ① まっすぐに渡る
- ② ななめに渡る



3 次のイラストの中で、やってはいけないことをしているのはどれでしょう？ (いくつでも可)



※「解答」は7面下。「解説」は下記SJ-Netでご覧いただけます。

ホンダ SJ

検索

交通安全指導 知得情報

このコーナーでは、交通安全指導に関わっている方々に役立つ情報を提供しています。

交通安全指導における効果的な話し方 第1回

藤原徳子 (株) ビジネスファーム 代表取締役

平成19～21年度の内閣府主催「交通安全指導者養成講座」で講師を務めるなど、コンサルティング会社でのキャリアを活かし、自治体や企業向けの研修や講演会等で活躍。

指導者としての心構え

交通安全指導はルールを守ることの大切さを教えることですから、その指導者は道徳的な人間のロールモデル (お手本) であるべきです。例えば、あなた自身が道路を横断しようとした時、青信号が点滅していたら、ルール通りに止まってください。もしも渡ってしまっ、それをあなたが指導した人が見かけたとしたら、その人はどう思うでしょう…。日頃から、教育者であるという自覚を持っておくことが重要です。

話をする時に効果的な動作

交通安全指導の場面では集団に向かって話すことが多いと思います。この時、指導者の皆様に意識してほしいのは、受講している方々の存在を常に認知すること。こうした場合に役に立つのが視点法 (右図) です。

人間は自分の存在を認知されることで癒されます。そのため、話をする時は視線を移動させて会場全体に目を配りましょう。視線を送る時は受講者の眼球を見るのではなく、目頭と目頭の間くらいを見ることがポイント。こうした工夫で、受講者が参加しているという意識も高まります。また、この視点法は自信を持って話し

◎次号では具体的な話し方のスキルについて、ご紹介する予定です。

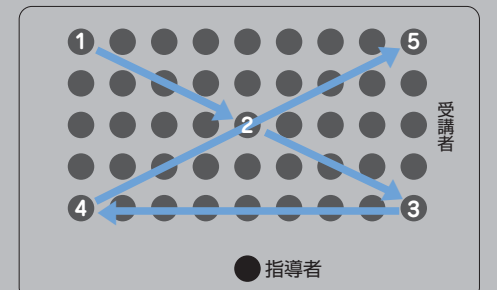
ているイメージを演出するという効果もあります。

視点法の例

話をしている時に下記の矢印に合わせて視線の移動を繰り返す。

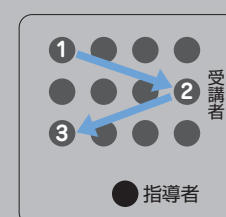
参加者が多い場合 (会場が広い場合)

< 5点法 >



参加者が少ない場合 (会場が狭い場合)

< 3点法 >



< Z視点法 >

